

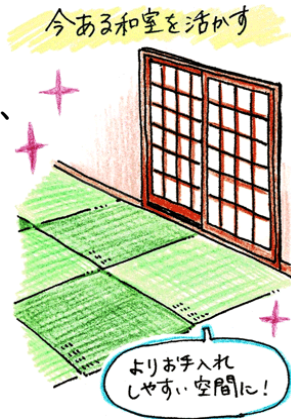
今どきリフォーム事情

～ お手入れしやすい和室に～

和室関係も年々新しい商品が開発され、お手入れしやすくなっています。今ある和室をよりよくするためにリフォームしてみませんか？

◆和室の内装

欄間、障子、襖、床の間など、今あるものを活かして、家をくつろぎの空間にすることができます。和室に使われている材料は、どれも元々良い物ばかりなので、無駄にしましてはもったいないです。



◆畳

い草の畳は、経年劣化で畳表が取れてきたり薄くなったり、色が変わってしまいます。最近では、和紙を強くした素材が人気です。色のバリエーションが豊富なので、インテリアの好みに合わせて、色を選ぶことができます。

表面が強いので、飲み物をこぼしたりしても染み込みにくく、擦れて取れたり、表面の色が変わる心配もありません。い草の匂いはしませんが、長く使うことを考えるとおすすめです。

和室を洋室に変えることもできますが、和室のまま、よりくつろげて、お手入れしやすい空間に変えることもおすすめです。

◆障子

紙の障子は破れたり、変色するので張り替えが必要です。最近では、ワーロン紙といわれる、強化障子紙などもあります。費用はかかりますが、丈夫で破れにくいので、頻りに張り替える必要がなくなります。

棟梁の日記

皆さん！こんにちは

11月は英語で「November」といいますが、その由来をご存知ですか？
Novemberの由来はラテン語で9を意味する「Novem」で、「第9の月」を意味します。

なぜ11月なのに9番目なのかというと、古代ローマ時代は1年を12ヶ月ではなく10ヶ月と考え、現在の3月を1月としていたからです。始まりの月である3月は軍神「Mars(マルス)」から、4月は愛と美の女神「Aphrodite(アフロディテ)」から、5月は豊穡の女神「Mia(マイア)」から、6月は結婚や出産の女神「Juno(ユノ)」から、7月はローマ皇帝「Julius Caesar(ユリウス・カエサル)」の名前から、8月は初代ローマ皇帝「Augustus(アウグストゥス)」の名前から、命名されたといわれています。

後から追加された1月、2月も神様の名前が由来ですが、9月から12月は、ラテン語で7を意味する「Septem」、8を意味する「Octo」、9を意味する「Novem」、10を意味する「Decem」が、それぞれ由来となっています。普段何気なく使っている月名の由来を知ると面白いですね。

- ・会社名 有限会社 野瀬建築（創業昭和37年）地域と共に六十二年 建設業許可（般-3）第6685号 設計事務所登録第2-1154号
- ・提供できるもの 介護リフォーム工事・リフォーム工事・耐震工事
（天然乾燥材住宅（ともいきの家）を予算に応じてご提供します）
- ・モットー 安くて丈夫な木の温もりを感じる家を提供したい。
- ・会社の場所 三重県津市高茶屋七丁目6番36号
- ・連絡先 フリーダイヤル 0120-34-1829
- ・E-mail nose@noken.jp
- ・ホームページ <https://www.noken.jp/>

※配信の停止を希望される場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください。



涼しくと言う間もなく寒くなりつつありますね、皆さんご自愛下さい。
来月も頑張って造ります。
お楽しみに！